

平成 27 年度第 8 回登別市教育委員会会議録

日 時 平成 27 年 11 月 26 日（木）午後 4 時 30 分

場 所 登別市立幌別西小学校

第8回 教育委員会議事日程

- 1 日 時 平成 27 年 11 月 26 日（木）午後 4 時 30 分
- 2 場 所 登別市立幌別西小学校
- 3 議 案 議案第 16 号 平成 27 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査
「北海道版結果報告書」への掲載の同意について
議案第 17 号 登別市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
- 4 その他
 1. 平成 27 年度教育ふれあいウィーク実施状況について
 2. 携帯電話やスマートフォン等についての調査結果の報告について
 3. 市民プール敷地の取得（公有財産の所属替え）について
 4. 幌別西小学校敷地内の樹木倒壊に伴う車両損傷事故について
 5. 教育委員会広報「教育のぼりべつ」の発行について
 6. 全国学力・学習状況調査北海道版結果報告書の公表について
 7. アイシン精機株式会社登別事業所からの寄贈について

出席者

（教育委員 5 名）

委員長	垣 内 登紀子	委 員	森 口 達
委 員	赤 井 秀 輝	委 員	堅 田 裕
委 員	武 田 博（教育長）		

（事務局 9 名）

教育部長	佐 藤 史 彦
教育部参与	野 崎 均
教育部次長	橋 場 太
総務グループ建築主幹	出 口 利 美
学校教育グループ総括主幹	田 中 道 郎
学校教育グループ学務主幹	櫻 井 貴 志
社会教育グループ総括主幹	安 部 直 也
図書館長	綿 貫 亨
給食センター長	小 森 仁

○垣内委員長 本日の委員の出席は5名でございますので、委員会は有効に成立していることをご報告します。

これより平成27年度第8回教育委員会を開催します。本日の議事は、議案2件になります。それでは議事に入ります。

議案第16号「平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への掲載の同意について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○櫻井学校教育グループ学務主幹 「平成27年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への掲載の同意について」ですが、全国学力・学習状況調査と同様に北海道版のまとめを道教委の方で作成することとなりました。

本市においても結果をこの北海道版への掲載について同意の承認を得られればと思います。以上です。

○垣内委員長 こちらの結果を公表することについては、保護者や地域の皆様へ現状を知っていただくことから公表が望ましいと思います。昨年は同意をしましたが、今年も同意をするか意見ををお願いします。

○橋場次長 前回の委員会で学力テストの方の同意を議案とさせていただきました。今回は運動能力についての同意ということになります。

○武田教育長 全国調査ということで、基本的には市町村で全国・全道との状況を比較して対策を練ることができるので、同意をして積極的に情報を得ていくことも必要でないかと思えます。

○垣内委員長 ただ今意見をいただきましたが、学力テストの公表とともにこちらの方も同意をするということでもよろしいでしょうか。（はいの声あり）

それでは議案第16号については承認をいたします。次に議案第17号「登別市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について」を議題とします。事務局より説明をお願いします。

○小森給食センター長 議案第17号について説明いたします。

登別市学校給食センター運営委員会は、登別市学校給食センター条例第5条の規定により、給食の物資購入や給食費等の関係で給食センターの運営に関わっていただきまして教育委員会の諮問に応じるため設置しているものであります。

委員の任期は2年でありまして、教育関係者や学識経験者の10名以内で構成されています。現在の委員については、平成26年11月の第8回教育委員会で承認されましたが、委員の転勤や所属機関の役員変更で教育関係者2名、学識経験者選出区分のPTA会長1名の交代となっております。

このことを踏まえまして、欠員が生じた団体の方から新任の方を選出していただきまして、3名の方から承諾を得ております。任期については前任の残り期間とし、12月3日に運営委員会を開催する予定ですので、12月3日から平成28年11月30日までとします。

新任の委員についてですが、教育関係者では幌別西小学校の柴田政人校長先生、西陵中学校の嶋原洋二校長先生、学識経験者からは登別市PTA連合会会長の守屋聡氏を委嘱したいと思います。以上です。

○垣内委員長 ありがとうございます。事務局より新しく3名の委員の提案がありました。が質疑等ありますか。（なしの声あり）

ご質疑なしとのことなので、議案第17号については承認します。以上で本日の議事

はすべて終了となりますがその他事務局から情報提供はありますか。

○野崎参与 本日配布しました資料をご覧くださいと思います。

一枚ものの「ふれあいウィーク来校者人数」というものと「登別市教育フォーラム集録集」をご覧ください。

今年度は「教育ふれあいウィーク」を10月25日の日曜日から11月7日の土曜日までと設定いたしまして市内小中学校の授業公開、中学校吹奏楽部の演奏会、特別支援学級の作品展、特別支援教育の懇談会、教育フォーラムを開催しまして市民全体で登別の教育について考える機会を設けました。

各学校への来校者の総数は表の中で示しておりますが、総数1,370名の方に学校に来ていただきました。

平成26年度から土曜授業を見ていただいていることもありまして、特に小学校に多くの保護者の方が来訪していただいております。地域の方も130名ほど来訪していただきまして、学校の取組や子どもたちの様子を知っていただく良い機会になっております。

また、11月6日金曜日には教育フォーラムを開催しました。学校運営協議会委員、学校関係者、市民の皆様にも声をかけまして90名を超える方々に参加していただきました。テーマは「地域とともにある学校づくり」としまして、2年目を迎えましたコミュニティスクールの取組を直接推進していただいている方々に色々な思いを発表していただくような機会にしました。グループ編成等も中学校区で分かれていただいております。

また、講師に文部科学省のコミュニティスクール推進員である出口寿久氏をお迎えしまして2年目を迎えた本市の取組の更なる発展ということで、資料15ページの下にある「コミュニティスクールの更なる発展へ」というところは本市の取組を受けて出口先生が具体的に示していただいた部分であります。この辺りを意識して推進していきたいと考えております。

この集録集については各学校に配布しまして、もう一度運営協議会の方々に読んでいただいたり参加されなかった方や先生、保護者の方に見ていただきたいという思いで作らせていただきました。以上です。

○垣内委員長 ありがとうございます。情報提供につきましてはすべての説明が終わりましたら質疑に入ります。その他情報提供はありますか。

○野崎参与 引き続き情報提供をさせていただきます。

前回の教育委員会でも申しておりましたが、10月に小学校4年生以上から中学校3年生までの2,251人を対象に携帯電話・スマホ等のアンケート調査を行いまして、その結果がまとまりましたので情報提供させていただきます。

調査対象人数は2,251人ですが、2,251人を100%と標記した数字になっております。

所持率についてですが、「自分専用のインターネット機器を持っているか」という質問では、中学3年生が89.8%、小学4年生では69.5%となっております。自分専用のインターネット機器というのは、この場合では携帯電話やスマホ、その他にオンラインゲームができるゲーム機、音楽プレーヤーやタブレットも含まれています。これらのものを自分専用で自由に使えるものがあるかの質問でこのような数字になっております。

内訳についてですが、「スマートフォンを持っている」というのが中学校3年生で62.4%、「ゲームや音楽プレーヤーを持っている」が一番多く答えたのが小学6年生で73.5%、「タブレットを持っている」と答えたのが中学3年生で26%となっております。

このように見ていきますと、主に小学生ではゲームや音楽プレーヤーの使用が多く見

られ、中学生になるとスマホの使用が目立っています。今では小学校や中学校に入学したら自分の携帯やスマホを持つという雰囲気になってきているとこの数字から掴めてきます。

次に使用状況についてですが、持っている子どもたちが一日にどれ位の時間使用しているかという質問ですが、2時間以上使用している子どもたちの数字をピックアップしていきたいと思います。中学3年生では「2時間から3時間使用している」という子どもが13.6%、「3時間以上」という子どもは31.4%です。持っていない子どもも含めて100%ですので、持っている子どもだけで考えますともっと高い割合になります。「何時まで使用していますか」という質問では、中学3年生で「11時まで」というのが18.4%、「12時まで」というのが11.3%、「12時以降」と答えたのが37%となっています。中学3年生の6割以上がこの位の時間まで携帯やスマホを使い友だちと繋がっていると予想されます。

どのようなことで使用しているかという「SNSを利用していますか」という質問では、中学3年生で「時々」と「毎日」を含めると7割を超えているということになります。ここから考えますと、指導していく上での視点としては、ゲームに関しましては個人の指導になりますが、スマホ関係については友だちやよその人間と繋がっていることを考えますと、個人だけではなく集団での指導をしっかりしないといけないと考えております。

家庭のルールについては、5割程度の家庭で定めていますが、有害サイトに入らないためのフィルタリングという設定については、「未使用」と「わからない」と答えた数が5割を超えている状態です。家庭では何とかしようと思っただけでも有効な手立てが掴めていないのかと思います。

及ぼす影響というところで、「携帯・スマホ関係でトラブルがある」と答えている子ども達は中学3年生で15%ですが、実数に直しますと53人、小学6年生では48人という数字になります。また、これらの機器により勉強が疎かになっていると考えている子ども達、生活のリズムが崩れる原因になっていると考えている子ども達は中学3年生で6割を超えています。このような状況になりますと、持つなという話ではなく上手に使っていく使い方を考えていかなければいけないのかなと考えています。

5ページ目からは、それぞれ小・中学校での質問と結果についてグラフにしています。各学校では、この基礎データを基に色々取り組みをしていただいたり、市P連単位での講習会を開いていただいたりしていますが、今後は市P連や校長会と連携を取りましてこの状況を良い方向に変えていくという手立てを考えていきたいと思っております。

取り組み状況等が分かりましたら再度情報提供させていただきます。以上です。

○垣内委員長 ありがとうございます。その他に情報提供はありますか。

○安部社会教育グループ総括主幹 市民プール敷地の取得、公有財産の所属替えについて情報提供させていただきます。

資料の一覧表に記載されている土地につきましては、この度市が寄付を受けた土地になっております。そのうち登別市幸町1丁目8番1外3筆の土地につきましては、その後ろに添付した図面のとおり市民プールに隣接した土地であることから、寄付を受けた総務部契約管財グループから教育部にこれらの土地を利用する意思があるかどうか打診がありました。

現在市民プールの駐車場は、大会や大きなイベント時には現状の敷地で不足が生じる

こともあるため、隣接したこれらの土地は臨時の駐車場敷地として最適であることから教育部で利用したいという意思表示をしたところでございます。

これらの土地の利用につきましては、市の部長職で構成されます土地利用連絡調整会議において、他に利用希望をしておりました都市整備部と教育部の協議により、教育部で利用することで了承を得ましたので、この度教育部から総務部に対して公有財産の所属替えを依頼したところでございます。以上です。

○**垣内委員長** ありがとうございます。その他に情報提供があればお願いします。

○**出口総務グループ建築主幹** 幌別西小学校敷地内の樹木倒壊に伴う車両損傷事故について報告します。

事故発生日時は10月25日日曜日の午後5時頃で、前日からの強風により樹木が倒壊したという報告がありました。倒れた樹木は、高さが19mで幹幅が30cmのものです。その倒れた樹木が、近くにある教員住宅の入居者の車両に接触し傷を付けてしまいました。

原因についてですが、樹木の根元を見ると黒くなっており、専門の方に見てもらったところ根が腐っているということで、葉はついているのですが根元が腐り、根のつきが悪いため倒れたのではないかということです。

車両については、修理は終わっているのですが賠償金の支払いを予定して現示談交渉中であります。

他の小中学校の状況は、来週に造園協会の協力を得ながら全校見ていただくことになっています。以上です。

○**垣内委員長** その他に情報提供はありますか。

○**橋場次長** 教育のぼりべつの12月1日号が発行されますので、事前にお配りさせていただきました。

内容としましては、教育フォーラムや公開研究会の様子が出ておりますので後ほどご覧いただければと思います。以上です。

○**垣内委員長** その他に情報提供があればお願いします。

○**櫻井学務主幹** 全国学力・学習状況調査の北海道版結果報告書について情報提供いたします。

9月24日の教育委員会で承認をいただきました「全国学力・学習状況調査北海道版結果報告書」についてですが、11月25日の17時に道教委のホームページに掲載されました。本日お配りしました資料が実際に掲載されたものとなります。本報告書についてですが、市町村別の分析結果、市町村教育委員会及び学校における学力向上の取組例が掲載され、本市においても継続的な検証改善サイクルを確立するうえで大変参考になるものとなっております。平成26年度は86の市町村の取組が掲載されていたのですが、今年度は全部で135市町村が掲載しております。以上です。

○**垣内委員長** その他にありますか。

○**田中学校教育グループ総括主幹** 物品寄贈の情報提供をさせていただきます。

11月18日水曜日に千歳町にありますアイシン精機株式会社登別事業所のグループ企業が50周年を迎えたということで、工場がある自治体に対して自社製品を寄贈したいというお話がありました。グループ企業の製品の中からミシンを選択して、学校の授業で使用し老朽化していましたので、18台を中学校に寄贈していただき同日学校に配布しております。以上です。

○**垣内委員長** 情報提供は以上ということで、質問や提案があればお願いします。

まずふれあいウィークでの保護者や地域の方々の来校者数をお知らせいただきましたけれども、今回は土曜日になったということで、普段学校に足を向けることが出来ない保護者が数多く来訪されたのではないかと思います。人数については昨年より少し少ないですが、全体としては年々増えているように思います。

○**野崎参与** 緑陽中学校についてですが、今年は土曜授業の日程をずらしたことにより平日開催となってしまいました。やはり平日となると中々保護者の方も参加が難しかったため人数が伸びませんでした。

○**垣内委員長** 中学校になると保護者の来訪が少なくなるので残念だと思うのですが、足を運んでいただけるのはありがたいと思います。皆様から何か質疑はありますか。

携帯電話やスマートフォンの件についてですが、堅田委員のお子様はどうなのでしょう。

○**堅田委員** ゲーム機を持たせてはいるのですが、幸いインターネットを繋いで使っていないですね。持たせている理由については、周りのみんなが持っているので持っていないと仲間外れにされるかもしれないということで持たせました。

注意喚起についてですが、仕事で待合室の状況を見ると子どもを連れてきている親がスマホでゲームとかをしていたりするので、親が注意しても説得力に欠けるかなと思います。子どもに向けるよりもまず親に自制してもらわないといけないのではと思います。

○**垣内委員長** ありがとうございます。現在のこういう機器は便利ですが、堅田委員が言ったように親が子どもから目を離して危ない状況になることもあるので、保護者や大人の方へのアプローチの方が大切なのかと思いました。また、フィルタリングをかけていない人がこれだけいるのに驚いたのですが、これはスマホや携帯の会社の方で何歳まではフィルタリングをした方が良い等の提案は無いのでしょうか。

○**野崎参与** 設定の時にそのような話になるのですが、使っているうちに外してしまったりしますね。

そして、親よりも子どもの方が知識を持っているので、親が思っているようにうまく機能できない実態がこの数字に出ているのかと思います。

○**垣内委員長** 最近では中学生や高校生に出前授業のような形で行っている学校もあるようなので、そういうことも含めて啓発をしていただければと思っております。

樹木の倒壊については、子どもが巻き込まれなかったのが不幸中の幸いかなと思います。葉が枯れているのであれば一目でわかりますけど、葉がついているとなるとそこまで目が届かないというのが現状ですね。

赤井委員が教育フォーラムに参加されましたけどご意見ありますか。

○**赤井委員** 講師の話がとても良かったのですが、時間の関係で端折ったりする箇所があり、参加した人から話を聞くともっと話を聞きたいという意見が多かったですね。

それと三鷹市の小中一貫の取組で多少違うかもしれませんが、学校・子ども・家庭・地域での取組が分かりやすかったので調べてみると登別市とあまり変わらないと思いました。ただ、地域での取組で漢字検定や英語検定を地域で行っているというのが地域の力があるなと感じました。

○**武田教育長** 11月23日の新聞でコミュニティスクールの関係で大きく記事で取り上げられましたけど、その中で北海道ではコミュニティスクールを普及させるということで、4地区でフォーラムが開催されています。そのパネリストに櫻井主幹に行ってください

ています。4 箇所の内 3 箇所で櫻井主幹に説明をしてもらい、併せて三鷹市の教育長も同席しています。話を聞くと一番身近に感じられ、進め方も道内に合った取組や現場に近い説明をいただき参加された校長や管理職の方から質問が多いみたいで、まだまだコミュニティスクールの取組が広がっていくと思います。

我々もスタートするにあたっては色々な分野があり、一度にすべてのことが話し合われたり、重点的に取組んでもらった方が良いのではないかとしてきましたので、2 年目は意見交換をしながらもう少し広げた取組ができるようにフォーラムを開催させてもらいました。中間地点の発表としては良かったと思いますし、講師の出口先生も地域のことを理解してくれ、さらに良くするためにどうすればよいか説明していただいたのでもう少し前へ進めれば良いと思っています。

○垣内委員長 登別市では昨年度からコミュニティスクールを導入していますが、全道ではまだ 2%強しか導入していないので、登別市は先進的な取組をしていると思えました。櫻井主幹の方からその時のことでお知らせしていただけることはありますか。

○櫻井学務主幹 赤井委員の方からもお話がありましたが、三鷹市の話聞いて私も同じように登別市も同じようなことをやらせていただいているので、先進地と言われているところに全然負けていないと感じました。あと、こういう施策を進めていくためには市長部局の理解が必要になりますので、市が全体的に応援してくれていること、地域の方々のご協力、他の地域と違うのは校長会や学校現場の理解があつての事業となりますので、学校・地域・保護者・行政の 4 者がしっかりスクラムを組んで取組んでいるという話をさせていただいています。一番身近で手の届くのではないかとということで、七飯町が登別市の取組をモデルにしたいということと、函館市や各市町村からもどのようにしているのか等の問い合わせを受けていますので宣伝をしているところです。

○垣内委員長 ありがとうございます。堅田委員の方から何かありますか。

○堅田委員 先週から登別小学校で恒例の歯科指導を行いました。平成 13 年に学校歯科医になってから毎年 1 時間ずつ全学年を回り指導を行っているのですが、当初は全学年で歯垢テストを行っていました。現在は 2・4・6 年生の隔年で行い、1 年生は歯磨きの仕方、3 年生はスポーツドリンクを使いおやつのととり方についての勉強をし、5 年生では唾液の勉強ということで、各学年でテーマをもって指導を行っています。

○垣内委員長 健康の中でも歯はとても大事だと思いますので、堅田委員が学校と連携の下でそのようなことを進められているのはとてもありがたいと思っています。

それでは最後に 12 月の教育委員会の開催日について予定をしたいと思います。事務局から提案があればお願いします。

○橋場次長 12 月は 24 日が最終となりますので、24 日をお願いします。

○垣内委員長 ただ今事務局から 12 月 24 日と提案がありましたがご都合はどうでしょうか。（はいの声あり）

それでは 12 月 24 日 16 時 30 分ということで予定をさせていただきます。詳細については後日事務局からご案内をお願いします。

以上で本日の会議を閉会します。ありがとうございました。